伊達博物館改装事業ワークショップ
「みんなで隈研吾さんと一緒に考えよう新しい伊達博物館！」
及び
宇和島市新伊達博物館に関するアンケート
実施報告書

令和 5 年 1 月 17 日

株式会社　丹青社

1. 実施の目的

新博物館の基本理念「地域の歴史文化の再生、共創の象徴となるべき博物館」、「新しいまちづくりと景観の美しさの象徴となる博物館」※1を実現させるためには、未来を担う子どもや若者たちの意見を取り入れることが極めて重要と考える。

そこで、その年齢層に特化したワークショップの開催、アンケートによる意見募集を行い、その想いを建築及び展示設計等にフィードバックすることにより、宇和島市の特徴とすばらしさに気づき、地域をより良くしようとする人々が集い、誇りと活気に満ちた、美しいまちづくりを目指すこととする※2。

基本計画より、※1. 新博物館の基本理念、※2. 新博物館のビジョン抜粋

2. 実施内容の概要

(1) 周知方法

- 広報うわじま 11 月号・市ホームページへの掲載、市 SNS からの発信、記者クラブへの周知、ホリバタでのチラシ配布、ホリバタ SNS の活用からの発信
- 市内中高校生（3454 人）へのチラシ配布、イベント等での周知

(2) ワークショップ

① 開催日時及び場所

- 令和 4 年 11 月 23 日（水・祝）　13：30～16：00
- 宇和島市中央公民館

② 内容

ア. 開会挨拶、プログラムの説明
イ. 計画の概要説明（建築設計・展示設計）、質疑応答
ウ. ワーキンググループ１　「宇和島のよいところと言えば･･･！」
エ. ワーキンググループ２　「新伊達博物館に期待すること！」
オ. 閉会挨拶

③ 実施者

- 建築設計業務受託者　（株）隈研吾建築都市設計事務所
- 展示設計業務受託者　（株）丹青社
- 宇和島市（協力）

④ 参加者

- 応募者 32 名（うち、中学生 3 名、高校生 22 名、20 代 4 名、30 代 3 名、参加条件をホリバタ世代（39 歳以下）とした）、参加者 28 名
- 見学者 7 名

(3) アンケート

① 概要

ホリバタ世代（39 歳まで）を対象に、宇和島市に持つイメージやいいところ、歴史上の人物や出来事、宇和島市の歴史文化やまちづくりのために必要と思われることを主に選択方式で 12 問を設問した。

LOGO フォーム、紙タイプ 2 種類を用意。LOGO フォームは博物館 HP やチラシに QR コードを記載して参加できるようにするとともに、チラシは市内高校や中央公民館に配布した。

② 期間・集計数

- 令和 4(2022)年 10 月 24 日～11 月 28 日
- 159 件（内ワークショップでの回収数：27 件）

事前に配布されたワークショップのチラシ
QR コードからアンケート(LOGO フォーム)にアクセスできる

3. 伊達博物館改築事業ワークショップ

（1）開会挨拶、プログラムの説明

隈研吾氏による挨拶。近年の傾向として、建築プロジェクトでは途中段階で市民の意見を聞く機会を設けることが多くなってきている。その目的は、建築を市民が望んでいるようにすること、愛されること、そして関心を持ってもらうことにあることを説明し挨拶に代えた。

続いて、丹青社・福本より本日のプログラムの手順や時間配分を説明した。

会場のレイアウト：建築模型やパースを配置

左：隈研吾氏の挨拶、右：進行手順の説明

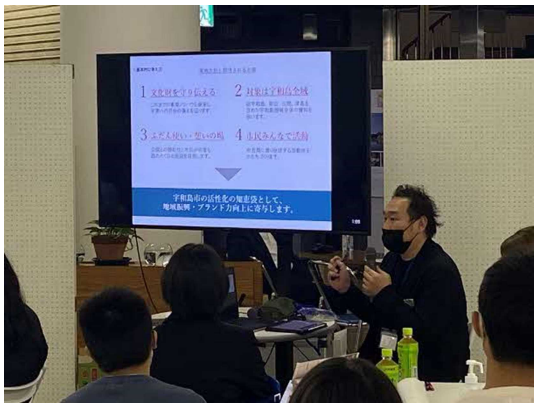
(2) 計画の概要説明（建築設計・展示設計）、質疑応答

隈研吾氏により建築設計の考え方「都市の居間のようなまちに開かれた博物館」、デザイン「周囲に馴染み、伊達文化を象徴する外装」等について説明。

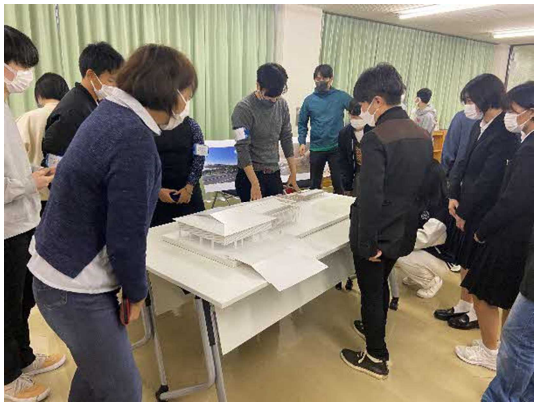
続いて丹青社・田中より展示設計の考え方「文化財を守り伝える、対象は宇和島全域、ふだん使い・憩いの場、市民みんなで活動」、デザイン「1 階の参加体験型コンテンツで親しみ、2 階のホンモノの魅力で深める」等を説明。

質疑応答では、参加者と以下のやりとりが行われた。

- Q：カフェには大手チェーン店等の誘致はできるのか→A：規模的に採算は難しいと考える（丹青社）、早稲田大学の村上ライブラリーでは学生 OB が運営しているのでそのようなしくみも考えられる（隈事務所）
- Q：施設は無料か→A：決定ではないが、現在のところ 1 階は無料、2 階は有料として検討している（丹青社）



左：隈研吾氏による建築設計の説明、右：丹青社・田中による展示設計の説明



パースや模型を取り囲んで説明を受ける参加者たち

(3) ワーキンググループ１　「宇和島のよいところと言えば･･･！」

① 進行

参加者に自身が思う宇和島の良いところを列挙し発表してもらうため、KJ 法と呼ばれる、ブレインストーミングなどで得た情報をカードに書き、同じ系統のカードをグループ化して、系統ごとに分類されたデータを整理、分析し、図解などを用いてまとめていく方式を用いた。

参加者 28 名を A～E の 6 グループに分け、ワーキングの進行を助けるとともに、発言していない人の発言を促したり、参加者の不安や緊張を和らげることを目的に、1 グループに 1 人、進行係を付けた。

参加者は、付箋に自分の考えたことや意見を付箋紙へ簡潔に書いていき（1 枚 1 意見)。グループ内で発表し、模造紙に貼っていき、同様の意見、似た意見をみんなでグルーピングし、そのグルーピングそれぞれにタイトルを付ける（時間があれば、特に大事にしたい意見などをみんなで考えて選んでいく)。

全グループのまとめが終わった段階で、各グループの代表者が会場全員に向けてグループ内の意見を発表してもらった。

② 参加者から出た主な意見

参加者が思う宇和島の良いところとして、食（6 グループ）や自然（5 グループ）に関する意見が特に多く上がっていた。食では、魚やじゃこ天、みかん等がおいしい、自然では、海と山に囲まれ、空や風景が綺麗といった意見が多い。次に祭り（イベント含め 4 グループ)。和霊大祭や牛鬼等の祭りが具体的に挙がっている。

歴史に関する意見は、博物館のワークショップという性質から考えるとあまり多くなく（3 グループ)、宇和島城や街並み等の意見が挙がっていたが、歴史上の人物に関しては意見が挙がっていなかった。

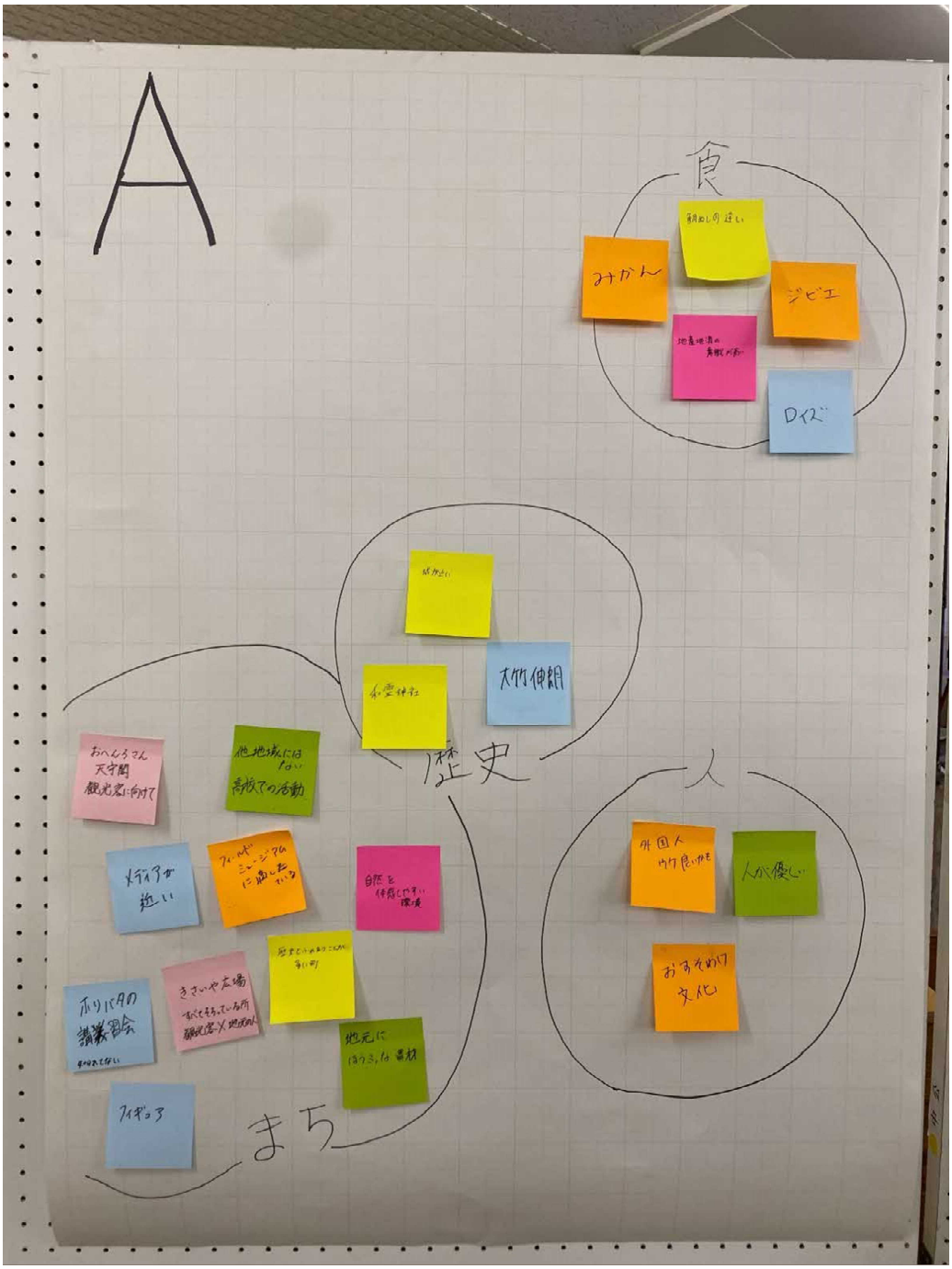
この他の良いところとして、地場産業、人がやさしい等の意見が複数挙がっている。

良くないところや課題等は 3 グループで意見が挙がっており、高齢化、中心市街地の活性化や、美術に触れる機会がない、高校卒業後の進路といった宇和島市が抱える課題を的確に認識している意見が見られた。

各グループの具体的な成果は次項のとおり（文字・表現は原文ママ)。

③ A グループの「宇和島の良いところと言えば・・！」

食	みかん、鯛めしの違い、ジビエ、地産地消の意識が高い、ロイズ
歴史	城が近い、和霊神社、大竹伸朗
まち	おへんろさん 天守閣 観光客に向けて、他地域にはない高校での活動、メディアが近い、フィールドミュージアムに適している、自然を体感しやすい環境、ホリバタの講習会 知られてない、 きさいや広場 すべてそろっている所 観光客×地元の人、歴史とふれあうことが多い町、フィギュア、地元にほうふな資材
人	外国人ウケ良いかも、人が優しい、おすそわけ文化

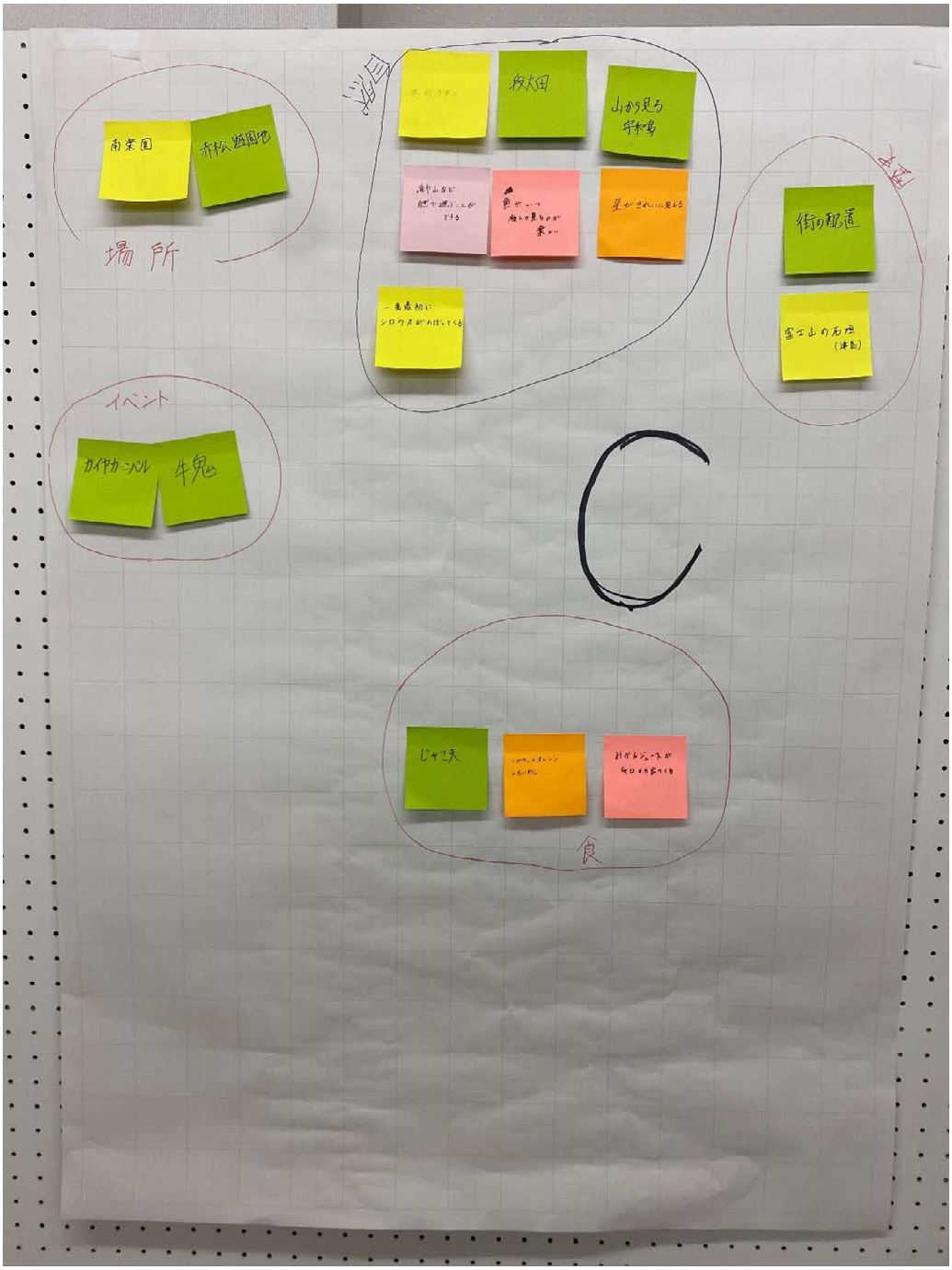


④ B グループの「宇和島の良いところと言えば・・！」

宇和島城	宇和島城
食	しらうお、たいめし、みかん、きさいや広場（ロイズ）、みかん、 じゃこてん（ちょっとしたファストフード店）、六宝
地場産	鯛の養しょく、真珠 養殖とか
祭り	まつり、お祭りがある、ガイヤ、五つ鹿、牛鬼
建物	商業施設、街の中に屋根がある、駅をもっときれいにしてほしい、アーケード街活性化！！（スタバなど）、美術館などがない 美術に触れる機会が少ない、丸山パフィオ、建物 遊ぶ場所が欲しい
人	人が優しい、歩道で車がとまってくれる
自然	川とか海などの自然、自然、海がきれい、 夕陽が海の方向へ沈む←めったにない めずらしい、自然

⑤ Ｃグループの「宇和島の良いところと言えば・・！」

場所	南楽園、赤松遊園地
自然	水がきれい、段畑、山から見る宇和島、海や山など自然で遊ぶことができる、魚がいて海とか見るのが楽しい、星がきれいに見える、一番最初にシロウオがのぼってくる
歴史	街の配置、富士山の石垣（津島）
イベント	ガイヤカーニバル、牛鬼
食	じゃこ天、ブラッドオレンジ、たいめし、みかんジュースがじゃ口から出てくる



⑥ Ｄグループの「宇和島の良いところと言えば・・！」

歴史	キヤ旅かん、城下町、お城 神社など、城がすごい
食	さつま、鯛飯、魚がおいしい！！ 、じゃこ天がおいしい、みかんなどがおいしい
人	夏井いつき、小島惟謙、鈴木けんご
いなか	周りの人が優しい、田舎なところ、のんびりできる、空気が良い
自然	星空がきれい、いのししがでる、海と山がある、風景がきれい、イルカが見える
祭	八つ鹿、ガイヤ、和霊大祭、闘牛、牛鬼
良くないとこ	おじいちゃんおばあちゃんの街、閉店時間がはやい、人がいない

⑦ E グループの「宇和島の良いところと言えば・・！」

自然	自然が豊か（緑と青がたくさん）、自然 景色がきれい、九島、 空気がきれい おいしい（潮の香りが流れている）、緑が多くて落ちつく、都会と比べて自然との時間 一人の時間→自然と向き合う時間があり質が高い、コンパクト、水がおいしい
食べ物	じゃこ天、すしえもん、魚がおいしい、みかんがおいしい、コメダ、魚の養殖が盛ん、真珠が有名、真珠がきれい、魚が安い！！
施設	造船所
お祭り	和霊大祭が盛り上がる
わるい点	将来の担い手を育てる場が…（あったとしても知られていない、少ない）、街のまわり方が分からない、図書館の駐車料金、31 とミスドが消えた…、美術に関する施設がほしい、有名な観光地が少ない、高校卒業後の進路の充実度↘（宇和島から離れてしまう）、いろんなものにみかんを入れすぎだと思う

⑧ 総評

ユニークな意見は数多く挙がったが、総じて、魚やみかん等がおいしいといった食や、海と山が近い、綺麗な自然環境に多くの参加者が愛着を感じていることが覗える。

主催した側として、ワークショップの主な目的は「宇和島の歴史・文化のいいところ」を中心に活発な議論を期待していたところだが、歴史や文化に関する具体的な固有名詞は宇和島城や祭り等が出ていた程度で、歴史上の人物や出来事等に関しては全く議論に上っていない。このことから、宇和島市の未来を担う若い世代が自分たちのまちの歴史・文化への関心がそれほど高くないことを伺わせられた。

一方で、少子高齢化、中心市街地活性化等、宇和島市が抱える課題も一部では議論に挙がっていて、これらの意見を踏まえながら、今後の検討に反映していく必要がある。

各グループ内での議論

左：各グループの発表、右：丹青社・福本による総評

(4) ワーキンググループ２ 「新伊達博物館に期待すること！」

① 進行

ワーキンググループ１と同じグループで、KJ 法を用いて、新伊達博物館の設計概要の説明を受け、「こんな過ごし方ができる博物館であって欲しい」「こんな機能があって欲しい」「こんな事業を展開して欲しい」等を議論してもらった。全グループのまとめが終わった段階で、各グループの代表者が会場全員に向けてグループ内の意見を発表してもらった。

② 参加者から出た主な意見

機能面では、落ち着いてゆっくり出来る場所や、放課後に過ごせる場所（待ち合わせや勉強、電車待ち）等、気軽に立ち寄れることを求める意見が多く見られる。また、多世代が交流できる場、等の意見が複数のグループから挙がっていた。

展示では、体験型や歴史・文化への親しみやすさ、解りやすさ、展示の更新性、現代の宇和島の展示等への意見が挙がっている。

広場はキッチンカー等のイベントを展開して欲しいという意見が複数挙がっている。

建築・展示ともに、「インスタ映え」する場所にしてほしいという意見も複数挙がっていた。

また、高校生と連携したカフェ運営、ミュージアムグッズ（お土産）の開発、子ども向けの事業、無料で利用できる場所等、運営に関わる意見も複数挙がっていた。

各グループの具体的な成果は次項のとおり（文字・表現は原文ママ）。

③ A グループの「新伊達博物館に期待すること！」

展示室	期間限定、体験型、若者が足を運ぶような展示、撮影 OK、文化財に親しみやすい
エントランス	ミュージアムショップ（コラボ）、お土産コーナーで高校で作った商品売れたら…、人の目が気にならないような席組み・しきりかし出し、コスプレ→割引、所蔵品（スズメの火鉢や姫の嫁入り道具）の商品化・設置
館内外	ベンチを増やす、写真映えするスポット
広場	イルミネーション、ハンモック、キッチンカー、みかんがり
カフェ	部活（全学合同の）としてカフェ運営（市の大人たちに相談）（顧問なし）、スタディカフェみたいな勉強スペース、Wi-Fi、カフェでバイト（学生）

④ B グループの「新伊達博物館に期待すること！」

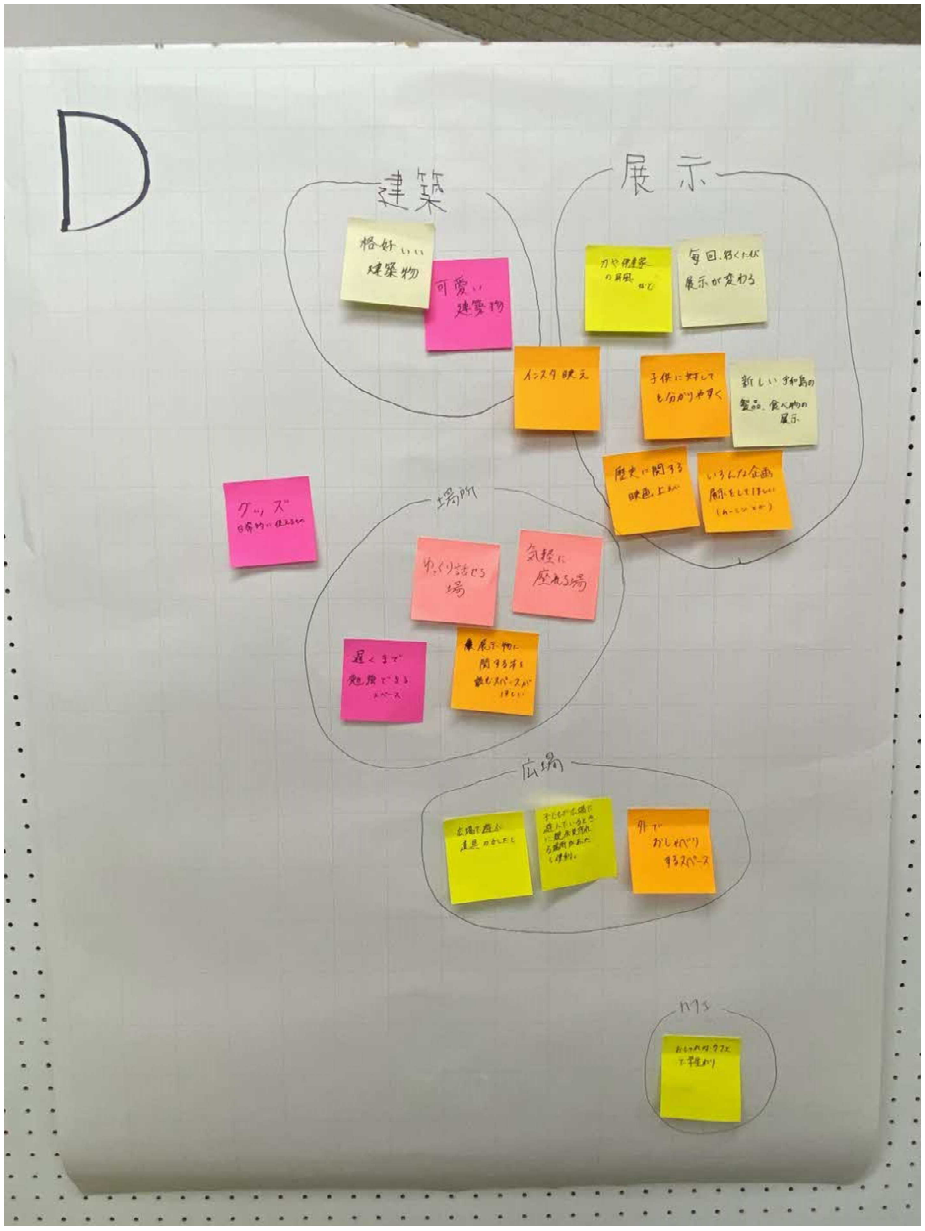
広場の活用	ステージ的なぶたいをやる場所、広場を活用して時々イベントを行ってもいいかも 例. 屋台とか、広場 キッチンカー 宇和島にはない食べ物・雑貨販売、看板、スマホを立てかけられる・充電できる、 ふんすいやゴーカート的な場所が広場にあるといい 例. 競馬場にある横の子供が遊ぶ場所、ベンチ 休憩（勉強）スペース
交流	幅広い世代の交流の場（お年寄りの方から昔の話を直接きける）、 休けい所←部屋とか用意するなど、学校と連携して講演会や講習会（勉強になる）
イベント	イルミネーション設置、高校生主さいのイベント、祭りの時に博物館も参加する
グッズ	博物館のグッズ
人に優しい	無料に、エレベーターなどバリアフリーな施設に、 施設内の経路案内←見やすくピクトグラム、夜遅くまで

⑤ C グループの「新伊達博物館に期待すること！」

気軽な飲食	コンビニ、自動販売機（飲み物以外のものとか）
機能	公園に小川があったら涼しい・音が良い、広場に屋根付けて雨でも遊べる
ゆっくり休憩	人目を気にせず過ごしたい、お金使わずに居座れる場所が欲しい、のんびりしたい落ち着きたい、待ち合わせ場所がほしい（学校帰り等で）
広場の使用	キッチンカー イベント、正月にイベント、うわカーゴでクレープ・アイスなど、高校生がカフェの店員になってメニュー考えるなど学校と連携した取り組み
お土産	レゴで作れる宇和島の名所、博物館のキャラクターを作ってキーホルダーなどグッズを販売
放課後	放課後に行けるように時間を延ばしてほしい、 午後 7 時の電車に乗りおくれると次は 9 時の電車になるが店が開いていないので待つ場所がない、勉強スペース、明るい場所、部活帰りにちょっとしたおやつを食べられるスペースが欲しい
若者の希望	おしゃれ大事！ 、映えスポット

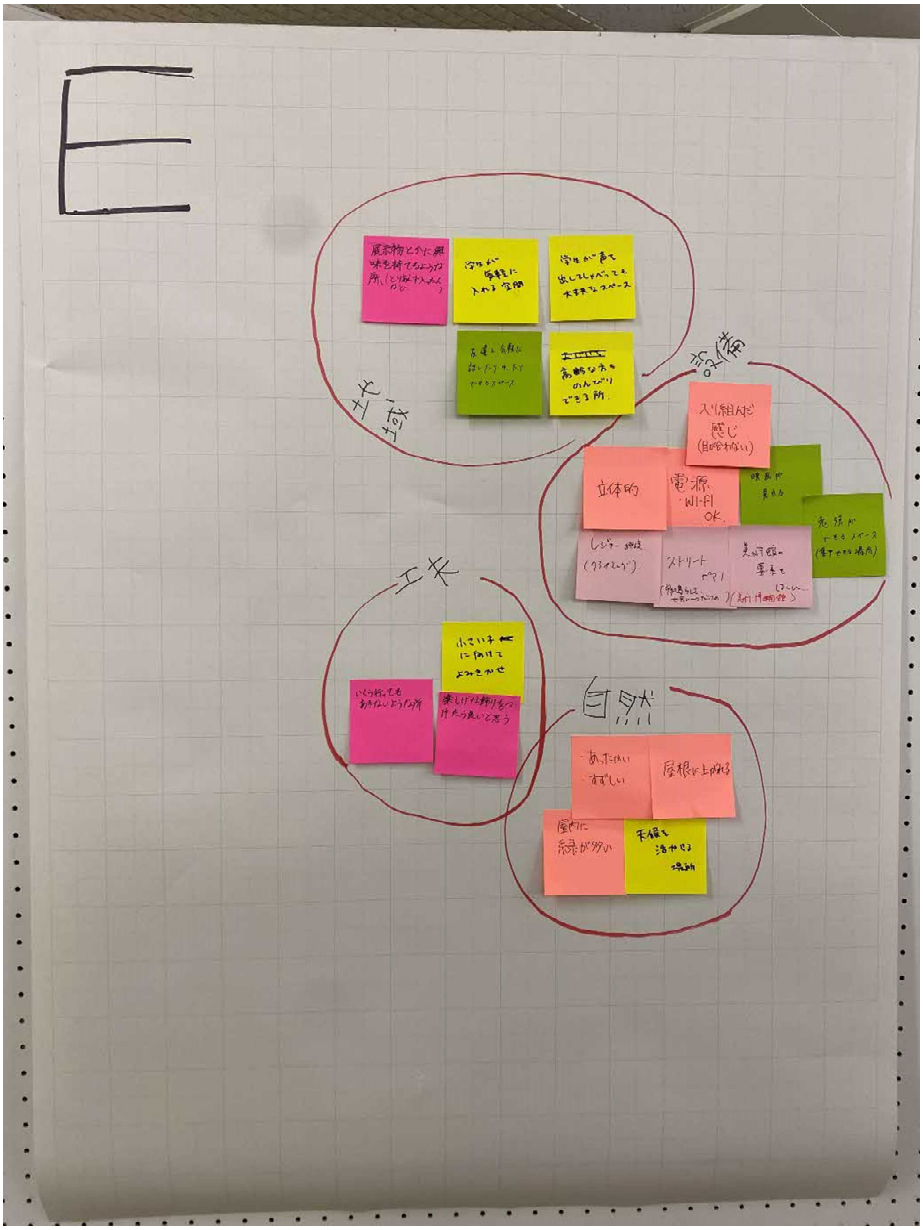
⑥ D グループの「新伊達博物館に期待すること！」

建築	格好いい建築物、可愛い建築物
展示	インスタ映え（※建築・展示両枠に重ねて貼付）、 刀や伊達家の屏風など、毎回行くたび展示が変わる、子供に対しても分かりやすく、新しい宇和島の製品・食べ物の展示、歴史に関する映画上えい、色んな企画展示をしてほしい（ムーミンとか）
場所	ゆっくり話せる場、気軽に座れる場、遅くまで勉強できるスペース、 展示物に関する本を読むスペースが欲しい
広場	広場で遊ぶ道具のかしだし、子どもが広場で遊んでいるときに親が見守れる場所があったら便利、外でおしゃべりするスペース
カフェ	おしゃれなカフェで学生わり
	グッズ 日常的に使えるもの



⑦ E グループの「新伊達博物館に期待すること！」

地域	展示物とかに興味を持てるような所（とりあえず入った人など）、学生が気軽に入れる空間、学生が声を出してしゃべっても大丈夫なスペース、友達と気軽に話したりゆったりできるスペース、高齢な方ものんびりできる所
設備	入り組んだ感じ（目が合わない）、立体的、電源 Wi-Fi OK、映画が見れる、レジャー施設（クライミング）、ストリートピアノ（宇和島らしさ、世界に一つだけの）、美術館の要素も欲しい…（美術、博物館）、勉強ができるスペース（集中できる場所）
工夫	小さい子に向けてよみきかせ、いくら行ってもあきないような所、 楽しげな飾りをつけたら良いと思う
自然	あったかい、すずしい、屋根に上がれる、屋内に緑が多い、天候を活かせる場所



⑧ 総評

活発に議論が展開され、数多くの意見が挙がったが、総じて落ち着いてゆっくり出来る場所や、放課後に過ごせる場所を求める声が多かった。また、定期的なイベントの開催や高校生との連携等、運営に関わる意見が数多く挙がっており、博物館が自分たちの居場所、まちの新たな中核施設になって欲しいという期待と高い関心を伺うことが出来る。

議論には挙がらなかったが、現在の伊達博物館は「難しくて解らなかった」といった意見も個別に頂いており、展示では解りやすさや親しみやすさを求められている。

これらの意見は、建築設計、展示設計に加えて、運営方針も含めた総合的な判断が必要なことから、今後慎重に検討を進めていく。

各グループ内での議論、各グループの発表

(5) 閉会挨拶

隈研吾氏による挨拶。宇和島市の次世代を担う若い世代から様々な意見を頂いたことに感謝する一方、建築としては観光客をはじめとする様々な属性の人に利用してもらう必要があることから、それらも含めて総合的に検討を進めていくことを説明し挨拶に代えた。

最後に、隈研吾氏を囲んで参加者全員で記念撮影し、閉会した。

隈研吾氏による閉会挨拶と、最後にみんなで記念撮影

4. 宇和島市新博物館に関するアンケート調査結果

(1) 概要

ホリバタ世代（39 歳まで）を対象に、宇和島市に持つイメージやいいところ、歴史上の人物や出来事、宇和島市の歴史文化やまちづくりのために必要と思われることを主に選択方式で 12 問を設問した。

LOGO フォーム、紙タイプ 2 種類を用意。LOGO フォームは博物館 HP やチラシに QR コードを記載して参加できるようにするとともに、チラシは市内高校や中央公民館に配布した。

- 期間：令和 4(2022)年 10 月 24 日～11 月 28 日
- 集計数：159 件（内ワークショップでの回収数：27 件）

(2) 目的・意義

宇和島の未来を担う子どもや若者たちが、自分たちのまちの歴史・文化についてどの程度の知識や情報を持っているかを把握し、展示コンテンツにフィードバックすることにより、博物館展示の目的である宇和島市の特徴とすばらしさに気づいてもらえるようにする。

(3) アンケート内容

問いの各項目に関しては、市民（若者）たちの興味や関心、宇和島の歴史文化に関する知識の具体的な内容を知ることにつながる内容とした。

- 居住域、年代等の属性
- 宇和島市のイメージ、いいところ、自慢できるところ
- 知っている歴史上の人物、出来事
- 宇和島市の歴史・文化を大切にするためやまちづくりに必要なこと
- 博物館へ期待すること

宇和島市新伊達博物館に関するアンケート

アンケート項目

Q1 あなたのお住まいについて教えてください。

(1) 旧宇和島地区　(2)吉田地区　(3)三間地区　(4)津島地区　(5) 宇和島市外

Q2 いつから宇和島市に住んでいますか。あてはまるものに○をおつけください。

(1) 生まれた時から住んでいる　(2) 市外から引っ越してきた　(3) 市内出身だが、一時市外に住み、戻ってきた

(4) 現在宇和島市外に住んでいる

Q3. あなたの学年、年代を教えてください。

(1) 小学生　(2) 中学生　(3) 高校生　(4) 10代　(5) 20代　(6) 30代以上

Q4. 「宇和島市」についてどのようなイメージがありますか。あてはまるものに○をおつけください。(どれか一つだけ)

(1) 歴史がある　(2) 独自の文化がある　(3) 自然がたくさんある　(4) 観光するところがたくさんある

(5) 農林水産業(みかんづくりや魚を育てることなど)がさかん　(6) あまりいいところはない

(7) その他 自由記述(　　)

Q5. 次にあげるものの中から、「宇和島のいいところ・自慢できるモノ」だと思うものに○をおつけください。(いくつでも)

(1) マダイなどの魚　(2) 真珠　(3)みかん・かんきつ類　(4) 鯛めし　(5) かまぼこ・じゃこ天

(6) 三間米　(7) 牛鬼　(8) 闘牛　(9) 和霊大祭・牛鬼まつり　(10) 神社やお寺

(11) 宇和島城　(12) 天赦園　(13) 南楽園　(14) 岩松の町なみ　(15) 段々畑

(16) 宇和海(海)　(17) 鬼ヶ城　(18) 薬師谷　(19) 海岸(リアス海岸)　(20) たくさんの島がある景色

(21) 市街の街なみ　(22) 山並み　(23) 温泉　(24) 伊達家の歴史

(25) 海や山のレジャー　(26) 方言　(27) 偉人 (人名:　　)　(28) 伝統工芸(品目:　　)

(29) その他 自由記述(　　)

Q6. あなたにとって、宇和島のいいところや自慢できるものは何ですか。自慢できるものや、こと、ところを一つだけ教えてください。

Q7. 次にあげる宇和島にゆかりのある人の中でどんな活躍をしたのか知っている人物に○をおつけください。(いくつでも)

(1) 土居 清良　(2) 藤堂 高虎　(3)伊達 秀宗　(4) 山家 清兵衛　(5) 伊達 宗純

(6) 伊達 村候　(7) 伊達 宗紀　(8) 伊達 宗城　(9) 松根 図書　(10) 二宮 敬作

(11) 児島 惟謙　(12) 穂積 陳重　(13) 前原 巧山　(14) 土居 通夫　(15) 井関 邦三郎

(16) 大和田 建樹　(17) 中野 逍遥　(18) 高畠 華宵　(19) 畦地 梅太郎　(20) 片山 恭一

(21) その他 自由記述(　　)

Q8. 次にあげる宇和島に関わりのある歴史上の出来事やキーワードについて、知っているものに○をおつけください。(いくつでも)

(1) 藤原純友の乱　(2) 清良記　(3) 和霊騒動　(4)吉田騒動(武左衛門一揆)

(5) 宇和島さんさ　(6) 幕末の四賢侯　(7)西洋の学問がさかんだった　(8) 伊達宗城が西郷隆盛と会った

(9) イギリス公使が宇和島に来た　(10) 蒸気船をつくった人がいる　(11) 大津事件　(12) 南予明倫館

(13) 宇和島空襲　(14) えひめ丸事故　(15)宇和島東高校の選抜高校野球優勝(昭和63(1988)年)

(16) その他 自由記述(　　)

Q9. 宇和島市の歴史・文化を大切にしていくためにはどのようなことを行ったらよいでしょう。あてはまるものに○をおつけください。(3つまで)

※文化財とは、歴史ある建物や美術品、伝統芸能、技術、お祭りなどの伝統的な行事、その土地の景色や町なみなど大切に伝えられてきた文化的な財産のこと

(1) 文化財※を保存したり紹介する場所を充実させる
(2) 文化財の調査・研究に力をいれる
(3) 文化財を観光客にも知ってもらう
(4) 歴史や文化についての学習会や、イベントを行う
(5) 学校での文化・芸術活動を活発に行う
(6) 子どもからお年寄りまで、みんなが文化・芸術を楽しめる機会をつくる
(7) 歴史や文化を守る活動に積極的に参加できるしくみをつくる
(8) 市や博物館などのホームページ・SNSで情報を発信する
(9) 姉妹都市や友好都市と交流して、おたがいの歴史・文化を学ぶ
(10) 地元の産業を担う人たちを育てて活動を応援する
(11)その他 自由記述(　　)

Q10. 宇和島市の今後のまちの発展のためにはどんなことが必要だと思われますか。あてはまるものに○をおつけください。(3つまで)

(1) 地域の産業に力をいれる
(2) 観光に力をいれる
(3) 学校教育を充実させる
(4) だれでもいつでも学べるようにする
(5) 道路や交通を整える
(6) 商店街をもり上げる
(7) 歴史・文化を守り、大切にする
(8) 宇和島に住む人を増やす
(9) 市民がまちづくりに参加する
(10) その他 (　　)

Q11. 新しい博物館はどんなことができる場所だったらいいと思いますか。期待することや希望することをご自由にお書きください。

Q12. その他、宇和島市の歴史や文化に対するご意見、ご要望などをご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました！

アンケート（紙方式）1/2

(4) アンケート回答結果

① アンケート回答者の居住地

アンケート回答者のうち宇和島市内在住者が約７割（67%）、うち、旧宇和島地区在住者が最も多く、半数近く（45%）に上る。市外からも約３割の回答が寄せられた。

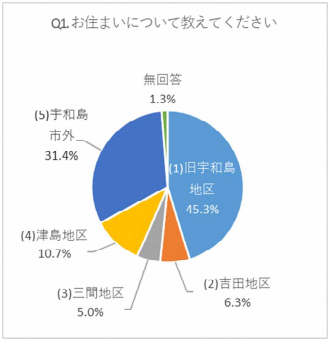
(1)旧宇和島地区	(2)吉田地区	(3)三間地区	(4)津島地区	(5)宇和島市外	無回答
72	10	8	17	50	2
45.3%	6.3%	5.0%	10.7%	31.4%	1.3%

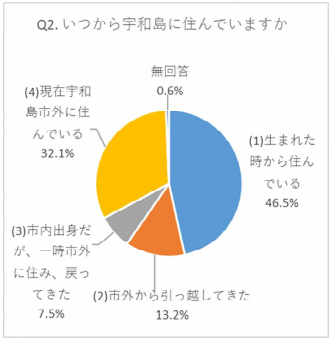
② アンケート回答者の在住歴

在住歴については、「生まれた時から」が半数近く（47%）に上る。市外からの転入、一時市外に住み戻ってきた人の割合を合計すると全体の約２割（21%）に上る。次項のとおり、回答者のうち高校生が最も多いことが要因と推測される。

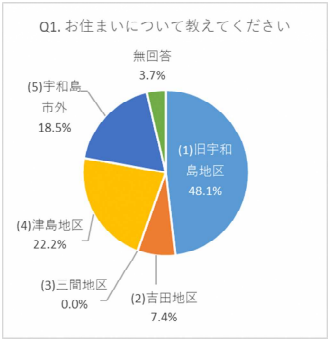
(1)生まれた時から住んでいる	(2)市外から引っ越してきた	(3)市内出身だが、一時市外に住み、戻ってきた	(4)現在宇和島市外に住んでいる	無回答
74	21	12	51	1
46.5%	13.2%	7.5%	32.1%	0.6%

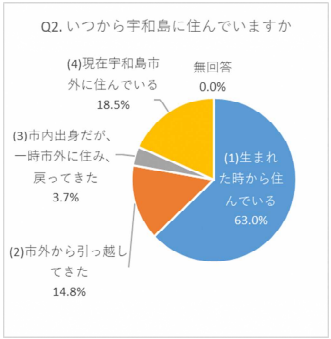
＜総合＞



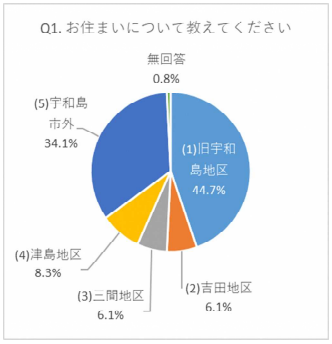


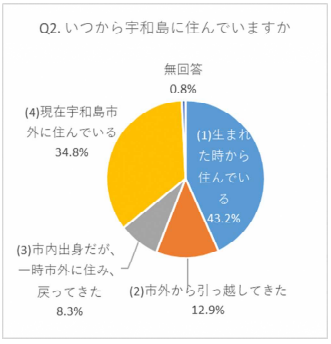
＜ワークショップ＞





＜ワークショップを除くアンケート回収分＞



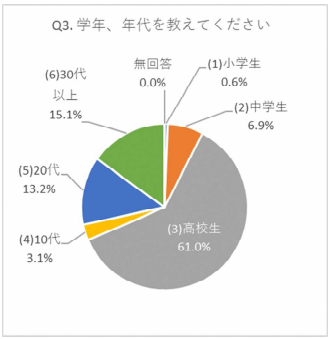


③ アンケート回答者の年代

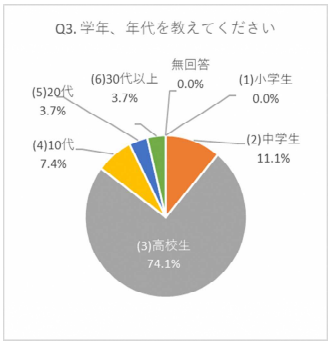
年代は、高校生が約６割（61%）で過半数を占める。20 代以上はおよそ 3 割（28%）。市内の各高校にチラシを直接配布したことが要因と考えられる。

(1)小学生	(2)中学生	(3)高校生	(4)10 代	(5)20 代	(6)30 代以上	無回答
1	11	97	5	21	24	0
0.6%	6.9%	61.0%	3.1%	13.2%	15.1%	0.0%

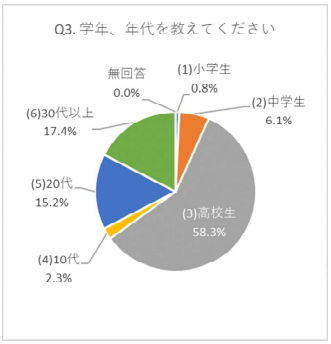
＜総合＞



＜ワークショップ＞



＜WS を除くアンケート回収分＞



④ 「宇和島市」についてのイメージ

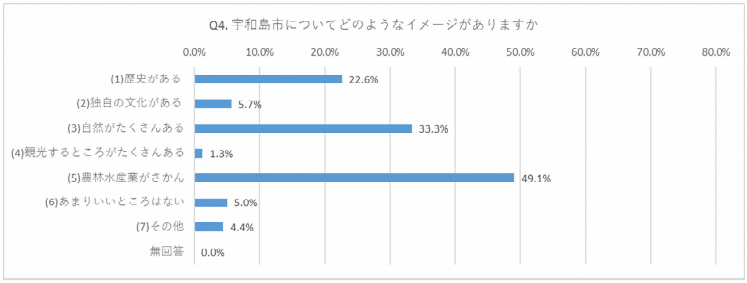
最も多く選択された回答は「農林水産業（みかんづくりや魚を育てることなど）がさかん」で約半数（49%）を占める。次いで自然がたくさんある」が約3割（33%）、「歴史がある」はわずか約2割（23%）で、「独自の文化がある」とあわせても3割に満たない（28%）。「あまりいいところはない」の回答は5%。ワークショップで議論されていた内容と似た傾向となった。

(1) 歴史がある	(2) 独自の文化がある	(3) 自然がたくさんある	(4) 観光するところがたくさんある	(5) 農林水産業(みかんづくりや魚を育てることなど)がさかん
36	9	53	2	78
22.6%	5.7%	33.3%	1.3%	49.1%
(6) あまりいいところはない	(7) その他	無回答		
8	7	0		
5.0%	4.4%	0.0%		

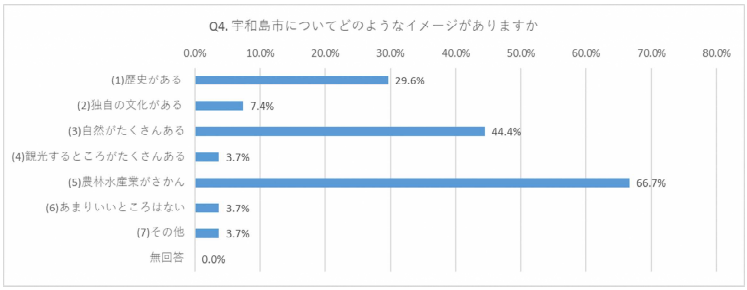
＜その他の意見＞

- 外から入ってくるものが多い・文化に若者が魅力を感じる核がない・発展途上の楽しさがある
- 商店街がさびれている
- シンパシーを感じます（館内募集/仙台市の方）
- 仙台・伊達家の継がり
- 人が温かい
- 自分の地域よりは栄えている。商業系
- 飲食店が多い
- 商店街がさびれている
- 人が温かい
- 飲食店が多い

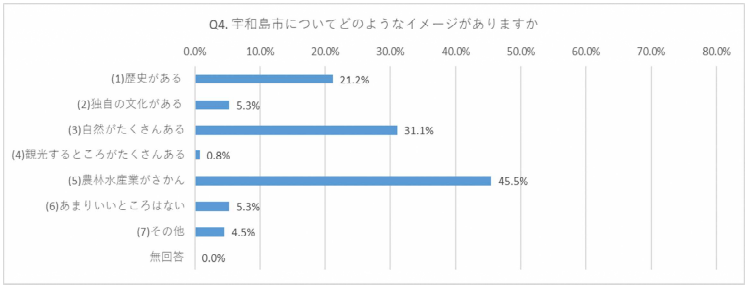
＜総合＞



＜ワークショップ＞



＜ワークショップを除くアンケート回収分＞



⑤ 「宇和島のいいところ・自慢できるモノ」

複数の選択肢の中から、宇和島のいいところ・自慢できるモノとして選ばれたのは食や産業に関する項目が高い。割合の高い順に「マダイなどの魚」（72%）、「真珠」（70%）、「みかん・かんきつ類」（65%）、「鯛めし」（65%）「かまぼこ・じゃこ天」（57%）で、いずれも5割以上がいいところ・自慢できるもの」と回答している。

「宇和島城」は6割を超えているものの（63%）、伊達家の歴史は約3割（32%）、偉人に至っては1割にも満たない（6%）。ここでも、宇和島市の若い人たちは自分のまちの歴史にそれほど関心がないことが読み取れる。

(1) マダイなどの魚	(2) 真珠	(3)みかん･かんきつ類	(4) 鯛めし	(5) かまぼこ･じゃこ天	(6) 三間米
114	111	104	103	90	32
71.7%	69.8%	65.4%	64.8%	56.6%	20.1%
(7) 牛鬼	(8) 闘牛	(9) 和霊大祭･牛鬼まつり	(10) 神社やお寺	(11) 宇和島城	(12) 天赦園
86	55	69	16	100	37
54.1%	34.6%	43.4%	10.1%	62.9%	23.3%
(13) 南楽園	(14) 岩松の町なみ	(15) 段々畑	(16) 宇和海(海)	(17) 鬼ケ城	(18) 薬師谷
19	7	50	34	17	11
11.9%	4.4%	31.4%	21.4%	10.7%	6.9%
(19) 海岸(リアス海岸)	(20) たくさんの島がある景色	(21) 市街の街なみ	(22) 山並み	(23) 温泉	(24) 伊達家の歴史
22	21	11	9	4	51
13.8%	13.2%	6.9%	5.7%	2.5%	32.1%
(25) 海や山のレジャー	(26) 方言	(27) 偉人	(28) 伝統工芸	(29) その他	無回答
13	16	9	2	3	1
8.2%	10.1%	5.7%	1.3%	1.9%	0.6%

＜「偉人」であげられた人名＞

伊達村候、伊達宗紀、伊達宗城(3票)、児島惟謙(4)、村上天心、伊達秀宗（3)、穂積八束、穂積陳重、前原巧山、藤堂高虎、村田蔵六、高野長英、楠本イネ、土井清良、穂積さん、大和田健樹

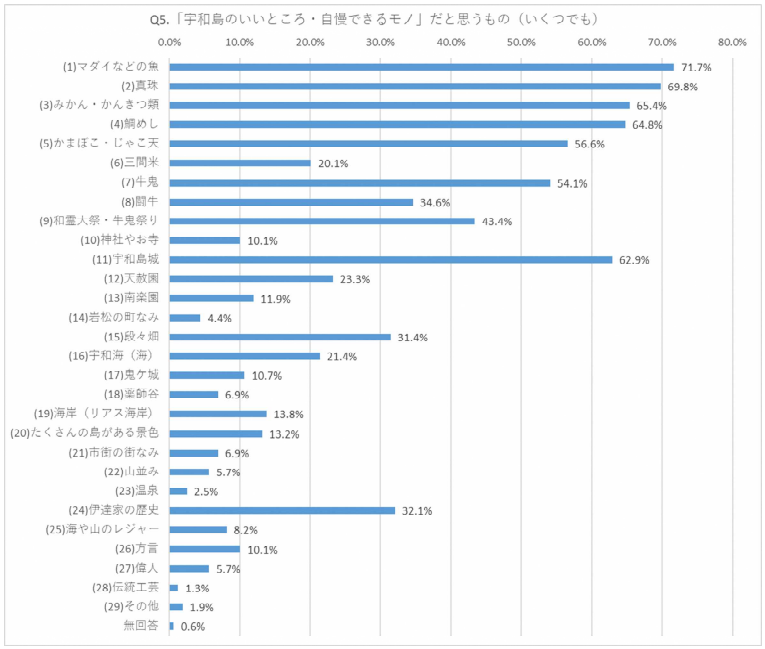
＜「伝統工芸」であげられた品目＞

牛鬼

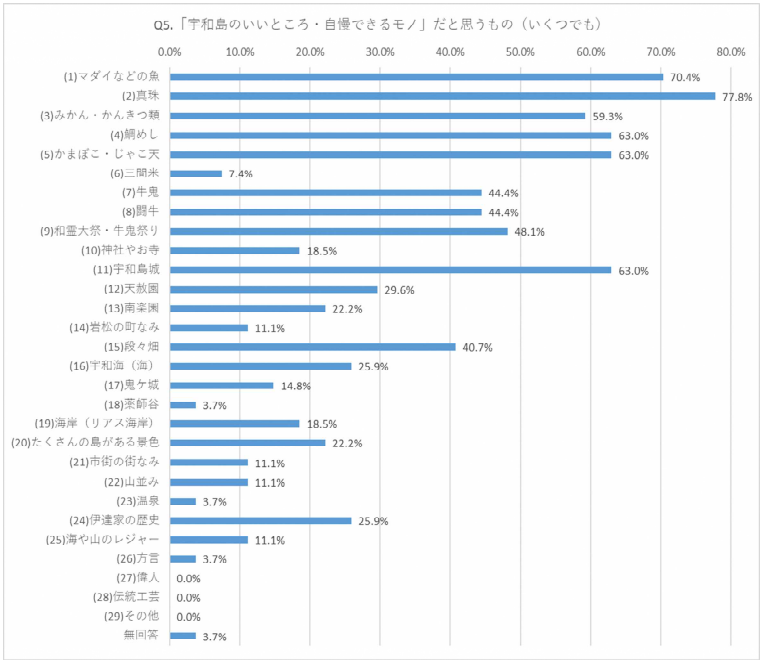
＜「その他」の意見＞

八つ鹿踊り、干潟の鳥類、キッチンRYu、ガイヤ

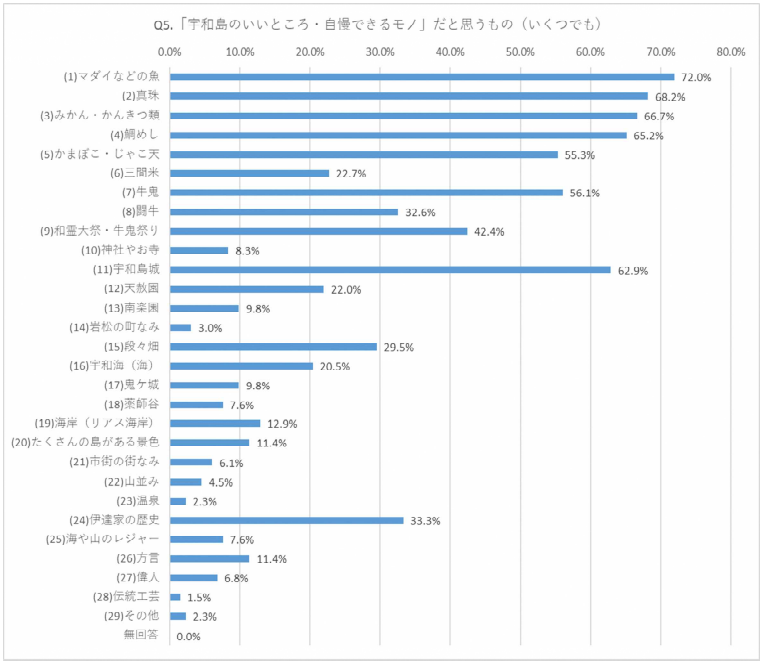
＜総合＞


Q5.「宇和島のいいところ・自慢できるモノ」だと思うもの（いくつでも）
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%
(1)マダイなどの魚 71.7%
(2)真珠 69.8%
(3)みかん・かんきつ類 65.4%
(4)鯛めし 64.8%
(5)かまぼこ・じゃこ天 56.6%
(6)三間米 20.1%
(7)牛鬼 54.1%
(8)闘牛 34.6%
(9)和霊大祭・牛鬼祭り 43.4%
(10)神社やお寺 10.1%
(11)宇和島城 62.9%
(12)天赦園 23.3%
(13)南楽園 11.9%
(14)岩松の町なみ 4.4%
(15)段々畑 31.4%
(16)宇和海（海） 21.4%
(17)鬼ケ城 10.7%
(18)笨師谷 6.9%
(19)海岸（リアス海岸） 13.8%
(20)たくさんの島がある景色 13.2%
(21)市街の街なみ 6.9%
(22)山並み 5.7%
(23)温泉 2.5%
(24)伊達家の歴史 32.1%
(25)海や山のレジャー 8.2%
(26)方言 10.1%
(27)偉人 5.7%
(28)伝統工芸 1.3%
(29)その他 1.9%
無回答 0.6%

＜ワークショップ＞


Q5.「宇和島のいいところ・自慢できるモノ」だと思うもの（いくつでも）
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%
(1)マダイなどの魚 70.4%
(2)真珠 77.8%
(3)みかん・かんきつ類 59.3%
(4)鯛めし 63.0%
(5)かまぼこ・じゃこ天 63.0%
(6)三間米 7.4%
(7)牛鬼 44.4%
(8)闘牛 44.4%
(9)和霊大祭・牛鬼祭り 48.1%
(10)神社やお寺 18.5%
(11)宇和島城 63.0%
(12)天赦園 29.6%
(13)南楽園 22.2%
(14)岩松の町なみ 11.1%
(15)段々畑 40.7%
(16)宇和海（海） 25.9%
(17)鬼ケ城 14.8%
(18)笨師谷 3.7%
(19)海岸（リアス海岸） 18.5%
(20)たくさんの島がある景色 22.2%
(21)市街の街なみ 11.1%
(22)山並み 11.1%
(23)温泉 3.7%
(24)伊達家の歴史 25.9%
(25)海や山のレジャー 11.1%
(26)方言 3.7%
(27)偉人 0.0%
(28)伝統工芸 0.0%
(29)その他 0.0%
無回答 3.7%

＜ワークショップを除くアンケート回収分＞



⑥ あなたにとっての宇和島のいいところ・自慢できるモノ

自由記述においても、はやり「自然が豊か」「食べ物がおいしい」といった類いの回答が数多く上げられている。また、「人がやさしい」「漁業が盛ん」といった回答も複数挙がっている。

現存十二天守の宇和島城や、歴史の深さについての回答も複数見られるが、やはり自然や食べ物に関する回答が目立つ。

＜ Q6 の回答一覧 ＞

- 美しい町並
- 水がおいしい
- 魚がおいしい
- 海
- 自然
- 自然の豊かさ
- 食べ物がおいしい
- 食べ物のおいしいところ
- 鯛めし
- 自然
- 発展途上の楽しさがある
- 自然が豊かなところ
- 海と山の近い美しい城下町であるところ
- 歴史がすごい
- 自然が豊か
- 食べ物がおいしい
- 自然が多い
- 自然が豊か（緑と青がたくさん）
- 自然
- 海産物が豊富で食べ物が美味しい。
- みかんの種類が豊富なこと

- 自然があってのんびりできる場所。
- 新鮮で安い野菜や魚が帰る所
- 自慢できるとこなどない。こんな歴史の建物作ったって若者がくるわけない老人でさえこんわ、もっとWi-Fiついてる休憩スペースや個人スペース娯楽施設を作るべき。
- 何もない田舎だけれど食べ物がおいしい（魚介類・魚介類加工品・果物・お米など）
- 宇和島城
- 私は市外からの移住者ですが、宇和島市には独自の文化や伝統が色濃く残っていると感じます。外から多くの人が来ると、独自の文化や伝統は薄れていくのかなと思うので、宇和島の文化が長い間大切に残っているのは大変誇れるものだと思っています。
- 暖かい天候
- 人も時間ものんびりしている
- 人がのんびりしている
- 魚の養殖
- 魚がおいしい。
- 釣りのポイントが沢山ある（日本中に誇れる）
- 現存天主である宇和島城天守がある
- 歴史文化が豊かで独特。
- 非日常体験
- 宇和島とは縁がないのでこれからより深く知りたい。
- お魚がおいしい
- 海も山もあるところ
- 自然豊かなところ
- 伊達家の歴史
- 地域の人が優しい
- 魚のおいしさ、宇和海の美しさ、人情
- 美しい景色と歴史的建造物の調和。
- 自然が豊かで宇和島が好きという人がたくさんいる。
- 伊達家と関りがあり、古くからの文化がある
- 伊達政宗
- 偉人がたくさんいる（歴史好き）
- 自然と歴史、街なみと文化
- 仙台在住です。同じ伊達家が治めたことで縁を感じています。
- 宇和島のみかんは、ブランド品が多いこと。
- 自然が多い。
- 魚が新鮮でおいしい。
- 自然が多くて人が良いところ
- 自然が豊かで漁業に力をいれていること
- みかん
- 鯛めしがおいしい
- 人のあたたかさ
- 穏やかにすごすことができる空間
- 地域の方々との交流が多い
- 地域の人がやさしいこと。
- 歴史の偉人が多いところ
- 自然豊かな環境でのんびり暮らせるところ。
- 水産物
- 魚の養殖が盛んで、魚の値段が安く、とてもおいしいこと。
- みかん
- 宇和島独自の文化（牛鬼など）があり

- 人が優しいところ
- 山や海の自然を堪能できること。
- 食べ物がおいしいところ
- 山と海に囲まれていて、色んな食べ物が食べれること。
- 思ったより伝統文化歴史があり、ご当主がおられるということ。
- 水産業がさかん
- いたるところに山や海があること。
- 静か
- 人が良いところ。
- 第一次産業が盛んに行われている
- 自然が豊かであること。
- 歴史ある建物が残っている
- 養殖の魚
- 美味しいものがある！！
- 自然
- 愛媛県の中でも深い歴史を持っている。
- 宇和島城は現存している数少ない城のうちの１つであること。
- 水産
- 空気がきれいなところ
- 漁業がさかん
- 自然豊かで、空気がきれいなところ。
- 海がキレイ。通学路が海沿いなので、海や夕日を見ながら自転車をこぐのが好き。
- 海
- 漁業や農業が盛んなところ
- 真珠
- 歴史や文化を大切にしているところ
- 漁業が盛んに行われ全国でもトップクラス！！
- みんな優しい
- 自然豊かで釣りができる
- 真珠
- 漁業がさかんで、水産物がおいしい！
- 城下町であるというところ。
- 食べ物がおいしい
- 魚がおいしい！
- なし。
- 真珠
- 優しい人が多い
- 自然が豊か
- 自然豊かで美味しいものがたくさんある
- 鯛や真珠などの漁業がさかんで魚が美味しいところ。
- 第一次産業が盛ん
- ガイヤカーニバルが盛大に行われること。
- 山と海がある。養殖魚がおいしい。
- 自然が豊かなところ
- 自然豊かで町の人たちが温かいところ。
- 魚の養殖がさかんなこと
- 魚がおいしい
- 鯛めしが他の地域のものとちがうところ
- 歴史が深いところ。
- 地域ごとに違う牛鬼がいる。
- 鯛めしがおいしい
- 様々な産業がさかんなこと。
- 漁業
- 空がきれい（夕焼けとか）
- 食べ物がおいしい。
- 自然が豊かなところ。

- 地域の人があたたかい。
- 吉田のみかんが美味しい。
- 美しい自然に囲まれているところ
- 現存 12 天守の一つがあること。
- 伊達家の歴史
- ねりもの
- 自然が多い
- おいしい魚がたくさん捕れること。
- 自然が豊かである所
- 自然がたくさんある。
- 自然豊かで、養殖業が盛んなところ
- 自然

⑦ どんな活躍をしたのか知っている宇和島ゆかりの人物

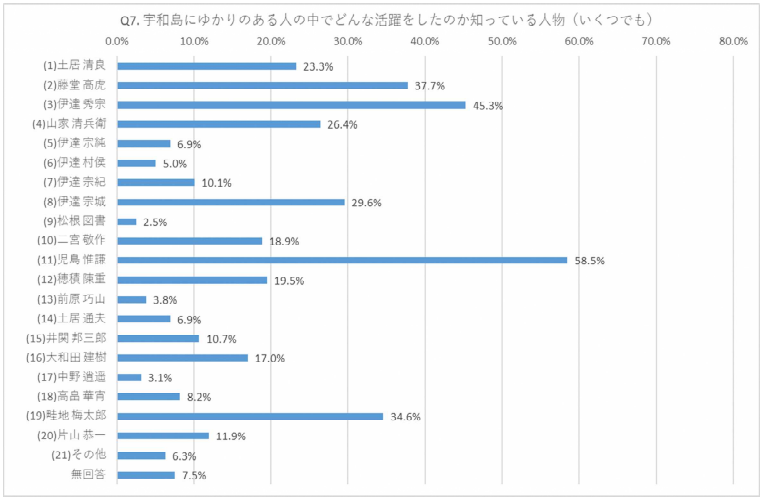
大津事件の「児島惟謙」が最も高く、6割に近い回答を得たものの（59%）、他の人物はいずれも5割に満たない。伊達秀宗が45%、藤堂高虎が38%、畦地梅太郎が35%で、伊達宗城は意外にも30%に留まった。次いで山家清兵衛（26%）、二宮敬作（19%）、穂積陳重（20%）が約2割の回答を得ているものの、多くの回答者は自分たちのまちの歴史上の人物をあまり知らないということができる。

(1) 土居 清良	(2) 藤堂 高虎	(3)伊達 秀宗	(4) 山家 清兵衛	(5) 伊達 宗純	(6) 伊達 村侯
37	60	72	42	11	8
23.3%	37.7%	45.3%	26.4%	6.9%	5.0%
(7) 伊達 宗紀	(8) 伊達 宗城	(9) 松根 図書	(10) 二宮 敬作	(11) 児島 惟謙	(12) 穂積 陳重
16	47	4	30	93	31
10.1%	29.6%	2.5%	18.9%	58.5%	19.5%
(13) 前原 巧山	(14) 土居 通夫	(15) 井関 邦三郎	(16) 大和田 建樹	(17) 中野 逍遥	(18) 高畠 華宵
6	11	17	27	5	13
3.8%	6.9%	10.7%	17.0%	3.1%	8.2%
(19) 畦地 梅太郎	(20) 片山 恭一	(21) その他	無回答		
55	19	10	12		
34.6%	11.9%	6.3%	7.5%		

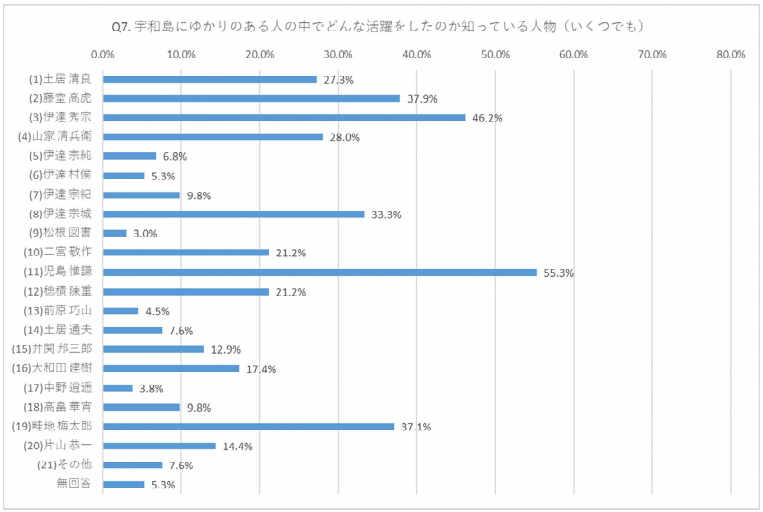
(21) その他のご意見

岩村明憲(プロ野球選手)(2票)、山下亀三郎(横浜の山下公園を寄贈した所)、土井豪人、
兵頭葵(STU48)、大竹伸朗、上甲正典、司馬遼太郎、村田蔵六、高野長英、楠本イネ、一条兼定、
土居裕子、岡本知高、夏井いつき、末広鐵腸、
名前は知っているが、どのような活躍をしたかまでは知らない
知りません

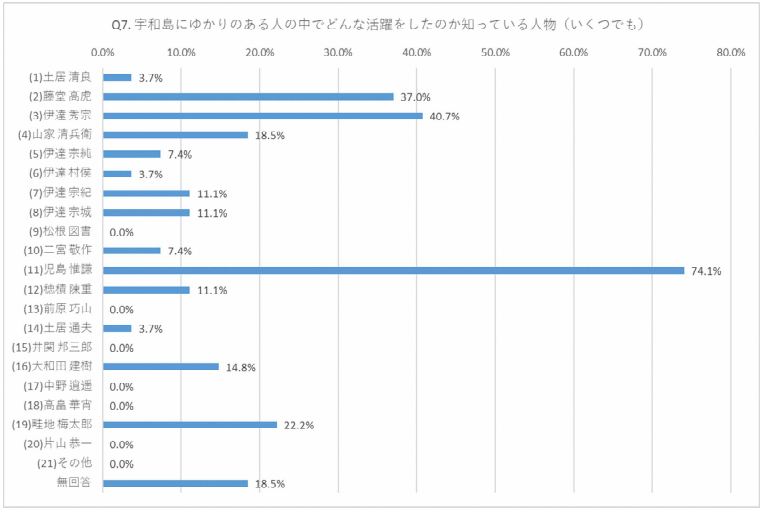
＜総合＞



＜ワークショップを除くアンケート回収分＞



＜ワークショップ＞



⑧ 宇和島に関わる歴史上の出来事・キーワードで知っているもの

5 割を越えた回答は、藤原純友の乱(58%)、えひめ丸事故（54%）の 2 点。次いで宇和島東高の選抜優勝が 40.1%の回答を得ている。(2)清良記から(11)大津事件までの中世近世近代の歴史上の出来事は 9%～26%に留まり、ここでも自分たちのまちの歴史への関心の薄さが見て取れる。

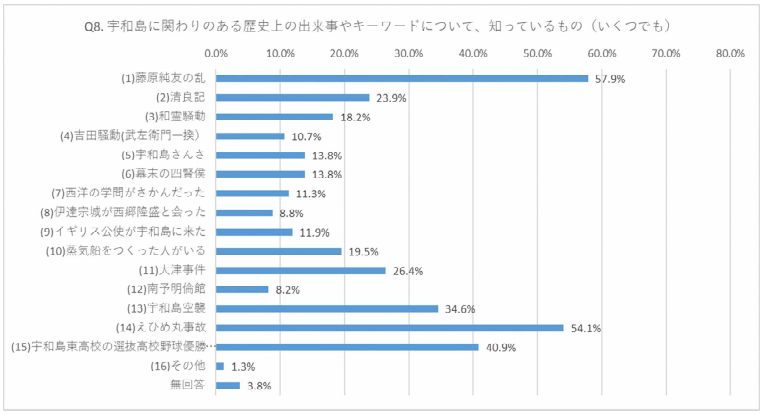
(1) 藤原純友の乱	(2) 清良記	(3) 和霊騒動	(4)吉田騒動(武左衛門一揆)	(5) 宇和島さんさ	(6) 幕末の四賢侯
92	38	29	17	22	22
57.9%	23.9%	18.2%	10.7%	13.8%	13.8%
(7)西洋の学問がさかんだった	(8) 伊達宗城が西郷隆盛と会った	(9) イギリス公使が宇和島に来た	(10) 蒸気船をつくった人がいる	(11) 大津事件	(12) 南予明倫館
18	14	19	31	42	13
11.3%	8.8%	11.9%	19.5%	26.4%	8.2%
(13) 宇和島空襲	(14) えひめ丸事故	(15)宇和島東高校の選抜高校野球優勝(昭和 63 年)	(16) その他	無回答	
55	86	65	2	6	
34.6%	54.1%	40.9%	1.3%	3.8%	

(16) その他のご意見

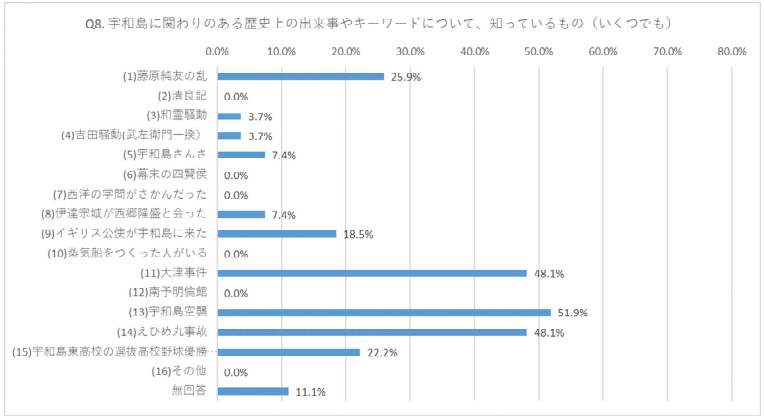
・上甲監督。万波先生。県外の人はどっちかの 2 人しかほぼ出てこない。

・出来事は知っていても宇和島とのゆかりは知りません

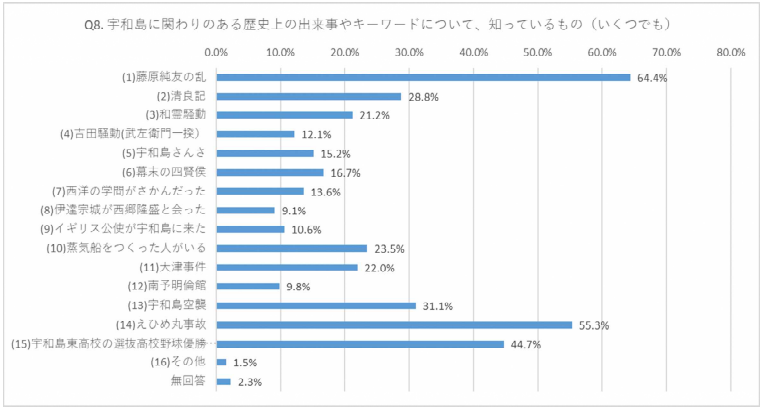
＜総合＞



＜ワークショップ＞



＜ワークショップを除くアンケート回収分＞



⑨ 宇和島の歴史・文化を大切にしていくためにはどのようなことを行ったらよいか

「文化財を保存したり紹介する場所を充実させる」（46%）、「文化財を観光客にも知ってもらう」（43%）が 4 割を超える。次いで「子どもからお年寄りまで、みんなが文化・芸術を楽しめる機会をつくる」（31%）、市や博物館などのホームページ・SNS で情報を発信する（30%）が 3 割を越える。

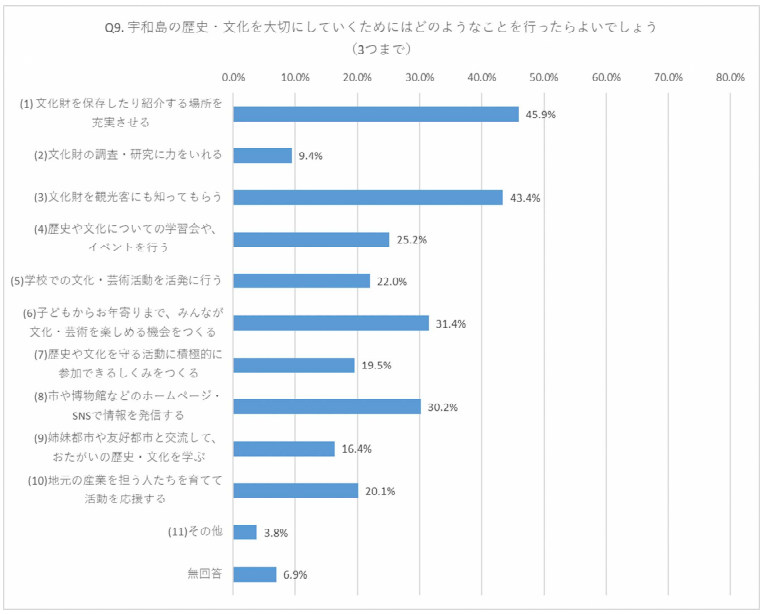
ワークショップ参加者は、約 5 割が「子どもからお年寄りまで、みんなが文化・芸術を楽しめる機会をつくる」を選択している。

(1) 文化財※を保存したり紹介する場所を充実させる	73	45.9%
(2) 文化財の調査・研究に力をいれる	15	9.4%
(3) 文化財を観光客にも知ってもらう	69	43.4%
(4) 歴史や文化についての学習会や、イベントを行う	40	25.2%
(5) 学校での文化・芸術活動を活発に行う	35	22.0%
(6) 子どもからお年寄りまで、みんなが文化・芸術を楽しめる機会をつくる	50	31.4%
(7) 歴史や文化を守る活動に積極的に参加できるしくみをつくる	31	19.5%
(8) 市や博物館などのホームページ・SNS で情報を発信する	48	30.2%
(9) 姉妹都市や友好都市と交流して、おたがいの歴史・文化を学ぶ	26	16.4%
(10) 地元の産業を担う人たちを育てて活動を応援する	32	20.1%
(11)その他	6	3.8%
無回答	11	6.9%

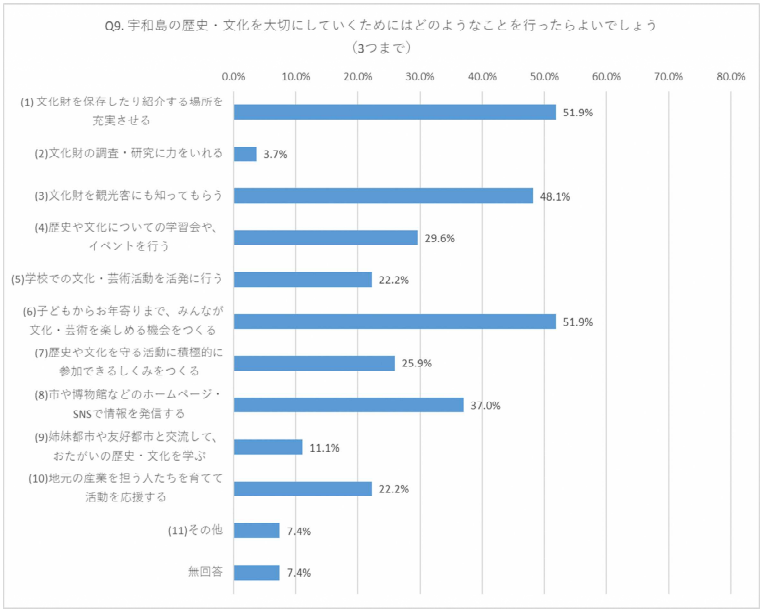
(11)その他のご意見

・学校以外に活気あるコミュニティをつくり、学びの場を提供する
・宇和島地区大きく言えば日本に誇りを持てるような教育を作る、企業
・市の公式ページのような地味なホームページではなく、きちんとデザインされた文化財の魅力が発信できるサイトが必要。SNS の活用も必須。
・そんな有名な歴史でもないのにそんなもんばっかに力入れんと違うものに力入れるべき
・担当者だけでなく、まずは市職員が宇和島市の歴史・文化を人に説明できるレベルまで知識をつける。またその機会を作る。
・中高生が中心となって活動する地域プロジェクトを行う

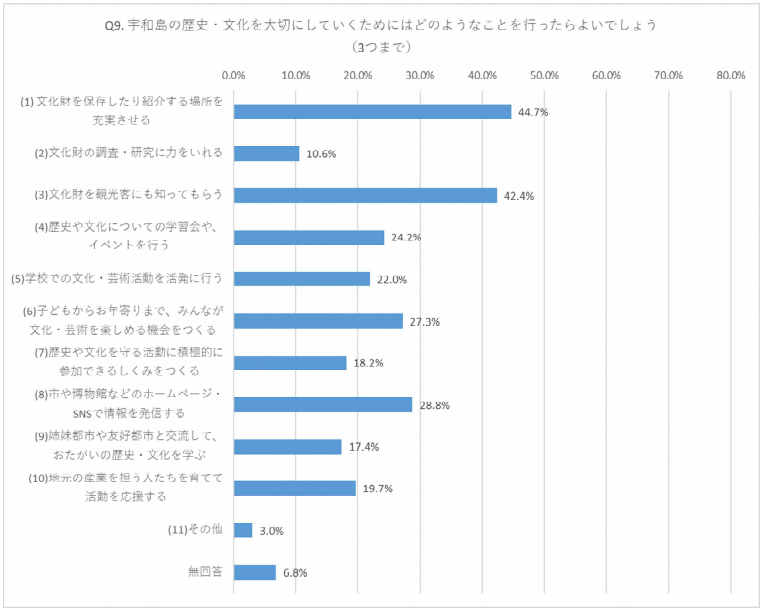
＜総合＞


Q9. 宇和島の歴史・文化を大切にしていくためにはどのようなことを行ったらよいでしょう
（3つまで）
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%
(1) 文化財を保存したり紹介する場所を充実させる 45.9%
(2)文化財の調査・研究に力をいれる 9.4%
(3)文化財を観光客にも知ってもらう 43.4%
(4)歴史や文化についての学習会や、イベントを行う 25.2%
(5)学校での文化・芸術活動を活発に行う 22.0%
(6)子どもからお年寄りまで、みんなが文化・芸術を楽しめる機会をつくる 31.4%
(7)歴史や文化を守る活動に積極的に参加できるしくみをつくる 19.5%
(8)市や博物館などのホームページ・SNSで情報を発信する 30.2%
(9)姉妹都市や友好都市と交流して、おたがいの歴史・文化を学ぶ 16.4%
(10)地元の産業を担う人たちを育てて活動を応援する 20.1%
(11)その他 3.8%
無回答 6.9%

＜ワークショップ＞


Q9. 宇和島の歴史・文化を大切にしていくためにはどのようなことを行ったらよいでしょう
（3つまで）
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0%
(1) 文化財を保存したり紹介する場所を充実させる 51.9%
(2)文化財の調査・研究に力をいれる 3.7%
(3)文化財を観光客にも知ってもらう 48.1%
(4)歴史や文化についての学習会や、イベントを行う 29.6%
(5)学校での文化・芸術活動を活発に行う 22.2%
(6)子どもからお年寄りまで、みんなが文化・芸術を楽しめる機会をつくる 51.9%
(7)歴史や文化を守る活動に積極的に参加できるしくみをつくる 25.9%
(8)市や博物館などのホームページ・SNSで情報を発信する 37.0%
(9)姉妹都市や友好都市と交流して、おたがいの歴史・文化を学ぶ 11.1%
(10)地元の産業を担う人たちを育てて活動を応援する 22.2%
(11)その他 7.4%
無回答 7.4%

＜ワークショップを除くアンケート回収分＞



※文化財とは、歴史ある建物や美術品、伝統芸能、技術、お祭りなどの伝統的な行事、その土地の景色や町なみなど大切に伝えられてきた文化的な財産のこと

⑩ 宇和島の今後のまちの発展のために必要だと思うこと

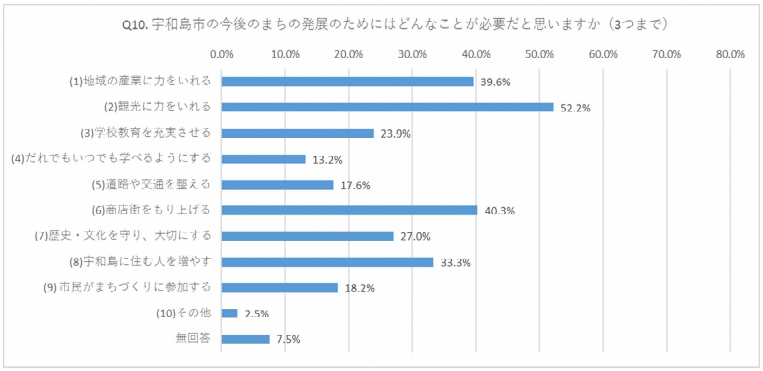
「観光に力をいれる」が唯一の 5 割以上（52%）、「商店街をもり上げる」（40%）、「地域の産業に力をいれる」（40%）が約 4 割となっている。「歴史・文化を守り、大切にする」は 27%の回答を得た。

宇和島市の観光資源をより一層活かすことや、中心市街地の空洞化に対する懸念が高いと読み取れる。

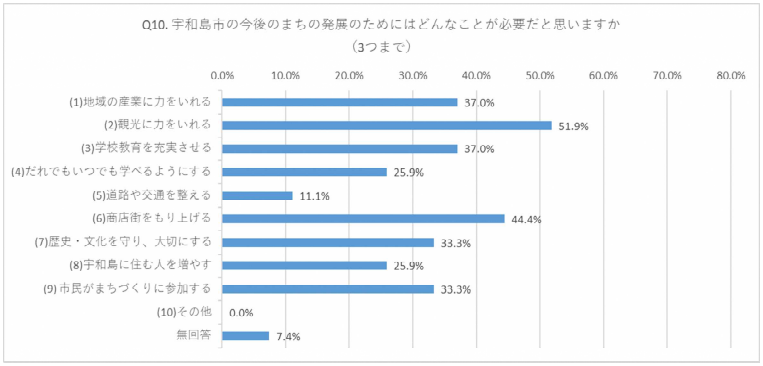
（1）地域の産業に力をいれる	（2）観光に力をいれる	（3）学校教育を充実させる
63	83	38
39.6%	52.2%	23.9%
（4）だれでもいつでも学べるようにする	（5）道路や交通を整える	（6）商店街をもり上げる
21	28	64
13.2%	17.6%	40.3%
（7）歴史･文化を守り、大切にする	（8）宇和島に住む人を増やす	（9）市民がまちづくりに参加する
43	53	29
27.0%	33.3%	18.2%
（10）その他	無回答	
4	12	
2.5%	7.5%	

（10）その他のご意見：
- ･若年世代に故郷について知ってもらう機会を増やす（特に中高生）
- ･街の発展には若者が遊べる場所を作るべき大人が遊べるパチンコはいっぱいあるし幼児などが遊ぶ公園も沢山あるのに中高生が遊ぶ場所がほとんどない
- ･お店をふやす
- ･下水道の整備、商店街の別の活用法
- ･（(9)「まちづくり」に対して）若者がいつか戻ってきたいと思えるまちづくり

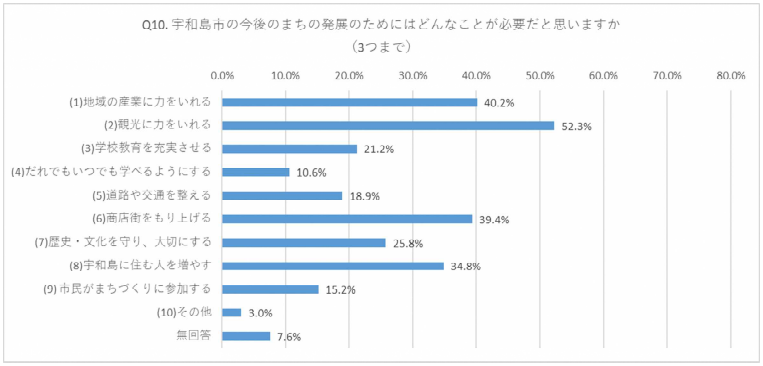
＜総合＞



＜ワークショップ＞



＜ワークショップを除くアンケート回収分＞



⑪ 新しい博物館に期待すること・希望すること

数多くの様々な意見が挙がったが、あらゆる世代の市民が、気軽に足を運べる、くつろげる、親しめるといった類いの意見が多い。歴史を楽しく学べる、親しめるといった意見や、ワークショップを行って欲しい等、参加性や体験性を求める意見も複数挙がっている。また、おしゃれな場所であって欲しい、カフェの併設といった意見も散見される。

＜Q11 の回答一覧（原文ママ）＞

- 気軽に足を運べる場所
- 学生の足が運びやすい所
- 子連れの親が子供を預けれるようにする。
- 学生も年配の方も楽しめる場所
- 幅広い世代の交流ができる
- くつろげる場所
- 勉強できたりして落ちつける場所
- 明るい雰囲気
- 気軽に足を運べる場所
- 体験型
- これから発展していく宇和島の象徴であってほしい、若者が語り場として使える空間があればうれしい、＋，ホリバタで行われるイベントなど、質の良いイベント情報を宣伝する空間がほしい
- 学びに寛容な場所
- みんなから愛される
- 何回行っても楽しめる場所
- 将来の担い手を増やす、意識を高める（意識改革)、再出発の場になるといいな、地元を愛せる場→社交性の UP、市民が参加→宇和島を盛り上げる！
- 中高生が何かしら作品やアトラクションを展示できるスペースを設け、ジャンルを問わず自由に自分を表現できる屋内外の利活用をお願いします。(美術部は絵や彫刻、声楽吹奏楽は屋外ミニコンサート、食品に関わる学校はマルシェや試食会、文芸部などは創作や俳句の展示発表など)『小学生の頃に博物館に行ったことある』では今と何も変わらない。地元の人が何度も博物館に足を運ぶのはすごく少数、学校にいる間に展示や発表で何度も訪れる仕掛けが必要。
- 市民の憩いの場、観光客との交流の場、文化財を保存・見られる場所、季節が感じられる場所
- 見るだけで価値のあるような建築とより中身のある展示物。博物館に行く目的や意味が「展示物を見る」だけでなく副次的効果もあるようなものが良い。

- 伊達博物館を、建て直すメリットが理解不能です。仙台に住んでいた事もありますが、みんな伊達政宗の長男？誰？だと思いますよ。市役所の、空いているスペースにでも押し込んどけば？ってくらいの感覚です。昔の方の「物」を残すより、未来ある子供たちにお金を使う方がよっぽど、価値があると思います。もし、新しい建物を建てるのであれば、何度も足を宇和島に運んでもらう為に入場料無料。価値があると思った人は投げ銭を支払う。都会から離れて仕事をしたい人向けに図書館や、カフェ、ホテル、オフィスも入れる。ただの史料館だけではもったいないですね。MDS に、投資をしてもらってはいかがでしょう？
- Wi-Fi のある休憩スペース個室などの個人スペース待合室など静かで落ち着ける場所が欲しい変な人、変な老人たちが、いてうるさかったりする事があるから
- カフェなど
- ただ見るだけでなく何か体験できたり（例：トリックアートで写真撮影ができる等）触れられる博物館だと、行って見て触れるという付加価値が生まれると思う。
- こどもが宇和島の歴史・文化を学び、故郷に愛着が湧くような場所だったらいいと思います。
- カフェを併設して、若い世代が気軽に来れる環境。学生・子育て世代が楽しめるイベントの定期開催。
- 市民が参加する文化財をテーマにしたイベントの拠点としての場所。学生たちが通いやすい過ごしやすい環境が整っている場所。
- 飲食ができる場所、屋内遊技場等の子供が楽しめる空間、イベントの開催など、ただ見て回るだけの施設でなく市民の憩いの場となって欲しい。
- 高知の蔦屋書店みたいに若い人から年配の方まで、わざわざ行きたくなるようなオシャレな空間になって欲しい。販売ブースやカフェなども豊富にあって、博物館だけを目当てに訪れる場所に収まって欲しくない。
- 官民どちらが主催でもいいので、住民も参加できるワークショップ等が開かれている場所だといいと思います。私は、博物館が、その立地も生かして、観光客向け特化ではなく、住民も利用する施設であってほしいと思っています。その理由は、市の人口減少対策として実施する移住政策にかける手間や費用が少なくて済むのは、U ターン勢ではないかと考えるからです。仮に進学のために市外へ出ても、外から見た本市の文化や歴史に魅力を感じてくれたら、U ターンするきっかけになるのではないでしょうか。そのためには、本市にいる間に種を蒔いておく必要があると考えます。ワークショップなどへ参加することで、博物館利用が生活の中に溶け込み、郷土愛の種が自然と育まれたらよいのではないかと思います。
- 気軽にたくさんの人々が集える場所にしてほしい。

- 重文や国宝の展示やそれに関連した公演やワークショップの充実
- 今までもそうでしたが、何度訪れても発見がある場所であってほしい。伊達氏と関りがあった地方との共同企画展も見てみたい。売店でグッズ・書籍販売も期待。
- 皆が考え集い、作品、自分と対話できる場
- 体験ができる
- 体験型
- 文書などが直接見れたらうれしい。
- 実際に体験ができる博物館。
- 様々なワークショップができる、質のよいグッズ
- 幅広い年代の人が楽しめるような参加型の展示を体験できる場所。
- 歴史についてのことがあふれる場所だったら嬉しいです。
- 小さい子が歴史について興味をもってくれる場所
- 歴史をしらない人でもたのしめることろ
- ていえんもあり、どちらでもたのしめることろ。(歴史など)
- たくさんの人が集まって歴史に興味をもってもらう場所
- 誰でも年齢問わず歴史に触れることができる場所だったらいいなと思う。
- 歴史を近くで感じながら宇和島の郷土料理も楽しめるカフェがあるといいなと思った。Wi-Fi や自習スペースがカフェ内にあると学生も来やすくなると思った。
- 歴史を楽しく学べる。　飲食できるスペースをつくる。
- かたい説明文だけでなく、紙しばい等の絵がついた、かんたんな文章も沿えることで、幅広い世代がたのしめる場所であればよいと思う。子どもには、むずかしい説明では、何がすごいのかわからず、たいくつしてしまう。
- いろいろな人とふれあえること。
- たいけん
- 学芸員の話がきける
- 中高生によるガイドで宇和島藩の歴史を学ぶ。若い世代が多く訪れる場所
- 本物にちかいレプリカでもいいので、実際に触れることのできる博物館。
- 体験ができる場所
- 宇和島市内の方も行きたくなる場所であってほしい。
- 体験できることがあったら楽しいと思います。
- VR・AR 体験（子ども・若者は大好きだと思います）
- カフェなどがあると良いと思う。
- 歴史を全く知らない人でも楽しむことができる場所
- 歴史に興味の無い人でも楽しめる場所
- 展示品を見ることで、それに関する歴史をおもしろく、分かりやすく学べたらいいと思う。

- 博物館としての機能だけでなく、周辺に学校が集中していることから生徒・児童が集る来るような場所
- 学習スペース
- 自習室がある部屋
- 自習室有
- 自分の興味のある人物や時代の歴史書を探しやすい場所。
- 歴史が分かりやすく学べ、様々なオプションがついている施設。
- スタンプラリー
- いつでも気軽に行ける場所
- たくさん歴史が学べる場所
- 観光客向け。宇和島の歴史を学べるスペースにカフェなどが隣接していると人が集まると思う。
- 食べれる物をおいてほしい
- 若い世代が出入りしやすい場所、観光客でも地域の人でも行きたくなる。
  Ex.ネット環境がいい、QR コードよみこめば動画や解説がきけるなど。
- くつろげる場所
- 体験して学ぶことができる。
- 気軽に入れるような場所だったらいいなと思います。(遊べたり、カフェだったり)
- 歴史を学べるかつ、楽しめる場所。
- 歴史が文字だけではなく映像でも分かるようにする。
- 体を動かせて、歴史を学べるもの
- 色々な芸能人に会える場所。
- 行きやすい。
- 入りやすい、行きやすい
- 実際に触れたり、当時の宇和島の町並みなど見てみたい。
- 学習会が行われる場所。
- 近代的な見た目で若い人も行ってみたいと思う場所。
- 気軽に立ち寄れるスペースがある
- 何か実際に体験できたらいい。
- 音声ガイド（展示品の説明）
- 体験型のものやプロジェクションマッピングなどを取り入れる。
- 歴史を学んだあとに、勉強できるスペースがほしい。
- 歴史の動画が流れている
- 歴史に関する史料が自由に読める博物館
- 勉強できる図書館がある
- 友達と来やすい場所
- 写真映え、動画映えする場所

・歴史や文化について楽しく学ぶことのできる場。
・学生でも気軽に歴史を勉強できるところ。
・明るくて開放感のある場所。
・もっと展示物を増やしたり、展示物についての詳しい説明があればよい。お土産を買える場所が欲しい。
・日本史を学んでいるので、楽しく歴史を学べるような学習会があると嬉しいです。
・ごはん食べれるところ
・宇和島市の歴史を学べる
・何か体験できる場所。
・学習できるスペースがある。
・プロジェクターでの説明が欲しい！
・体験とか
（以上）

⑫ その他、宇和島市の歴史や文化に対する意見・要望

この問いに対しても数多くの意見が挙がったが、アンケートに回答する機会を通して、宇和島の歴史の深さを知ったという意見や、宇和島の知名度はまだまだ低いので、もっと情報発信した方が良いといった意見が複数挙がっている。また、個別の歴史上の出来事について知りたいといった意見や、歴史文化に興味を持つ機会の提供、活動の継続といった意見も散見される。

＜Q12 の回答一覧＞

- 観光地を増やしてほしい
- 文化と気軽に触れ合えたらよい
- 歴史にふれ合う機会が多い
- 歴史を知る機会が少ない
- アーカイブ資料の充実化
- みんなが歴史に興味が持てるような所にしたい。
- 全国の都府県から愛媛、愛媛の中から松山より宇和島に行きたいと思える魅力を今から見つける、発信していくのは時間がなく、ましてや歴史は好きな人と無関心の人が両極端な分野で、形のない歴史文化一本で多くの人を呼び込むのは非常に心許ない。博物館建て替えの賛否はあるでしょうが、今のまま他市町を押しのけるほど、宇和島に観光や歴史に関する目玉がないのも事実。今あるものを無くすのが寂しい、不便になるのが嫌だではなく、これから生きていく若者世代に繋げるため、強いメッセージとして建て替えの意義は大きいと思います。
- 岩松の、町並みをもっと活性化させて欲しいです。
- ちゃんとしてください もっと考えるべきです
- 自分は県外（四国内）から移り住んだが、江戸時代以降伊達家が治めてきたことで他の四国内の地域とは違う東国と四国の文化が入り混じったような独特な歴史文化が形成されていると感じ、興味深く思う。また、幕末における歴史は他に比べ先進的なことも行っているが、他の四賢候たち（松平春嶽、山内容堂、島津斉彬）に比べて宇和島自体の知名度は低いのではないかと思う。自分は大学でも日本史を専攻し、歴史に興味があるが、同年代やそれ以下の世代になると、地元の歴史どころか歴史自体に興味関心がない人がとても多く感じる。そもそも歴史自体に興味を持つ人が増えなければ地元の歴史に目を向ける人は増えないのではないかと思う。新博物館建設を機に歴史文化に興味を持つ人が増えるような活動を期待しています。
- 伊勢に転封した藤堂さんについて行った南予人のその後の活躍、富田信高さんの宇和島藩統治について等、詳しく知りたい。
- 宇和島さんさについて詳しく知りたい。

・地方都市の中でも文化度が高いと思います。俳句を中心に高齢者の方々が楽しく学んでいることがすばらしいと思います。博物館のキャプションに資料の現代語訳をつけていただけるとより内容がわかりやすいと思います。
・今のままが一番！！
・新しい伊達博にきたいしています。
・宇和島市には長い歴史があり、たくさんの偉人がいることが分かった。
・宇和島の文化に対するちめい度があまり高くないので、それを高めていけるようにすればいいのではと思いました。
・豊臣秀吉や伊達政宗など、日本人なら誰もが知っている偉人と縁がある町であるということをよりPRしていったらよいのではないかと思う。そのような有名な偉人からつながり、町の歴史を知っていく人が多くなれば、より興味をもってくれると思う。
・どんなものを展示しているのか、多くの方に発信してほしい。
・またよろしくお願いします。
・これからも宇和島の歴史や文化を広め、残す活動を続けていってほしい。
・思っていたより、宇和島のことを知らず、まだまだ学びたいと思いました。ありがとうございました。
・伊達博物館に行くまで、豊臣秀吉の絵が宇和島にあることを知らなかったので、もっとPRしたら、もっと多くの人に知ってもらえると思う。
・市内外にさらに発信していくべき。
・偉人の名前を使ったイベントや物を多くつくるといいと思う。
・伊達秀宗のイベントをしてほしい。
・歴史や文化に関するイベントをかいさいしたらいいなと思う。
・“伊達”をもっと主張していったらよいと考えました。
・歴史をしっかりと伝えていくことが大切だと思います。
・もっと大切にした方が良い。
・宇和島は歴史ある市で多くの人が活躍していてとても誇らしいです。
・宇和島の歴史がこんなにすごいとは知らなかったので、もっと多くの人に知ってもらい歴史を大切に、後世にも残っていったらなと思いました。
・もっと触れる機会がほしい。
・伊達家の中で背が高かった人物がいると聞いたのですが、その人物の甲冑を他の武士の甲冑の大きさと比べられるように並べて展示してはどうかと父が申しておりました。
・いろんな人に知ってもらいたい。

（以上）

5. 今後の検討課題

(1) 総括

建築設計、展示設計においては、新博物館の基本理念「地域の歴史文化の再生、共創の象徴となるべき博物館」、「新しいまちづくりと景観の美しさの象徴となる博物館」の実現に向け、実施設計のとりまとめに入りつつある段階だが、ワークショップ及びアンケートの実施によって寄せられた高校生を中心とした数多くの若い世代の意見を今後どのように反映させていくかについて、建築、展示、運営・事業の3つの視点で以下にとりまとめる。

なお、ワークショップ及びアンケートに参加した人たちは、博物館に何らかの関心を抱いている人たちと考えてよく、博物館や宇和島の歴史・文化に関心がない人たちの方が遙かに多いことには留意する必要がある。

(2) 建築への反映

建築は、都市の居間のようなまちに開かれた居心地の良い博物館として、広場を大きく取り、天赦園をはじめとする周辺の機能と連動し、周囲からのアクセスも良い。ワークショップでもアンケートでも意見の多かった「気軽に立ち寄れる、使いやすい、落ち着きや居心地の良さ、多世代が交流できる場所」としての機能を果たすべく設計されている。また、周囲に馴染み伊達文化を象徴する外観、地域を象徴するエントランスホール等、いわゆる「映えスポット」としての意匠も考えられていることから、方針変更の必要は生じないものとして引き続き詳細検討を行っていく。

(3) 展示への反映

宇和島市の若い世代は自分たちのまちの歴史・文化をあまり知らない、関心が薄いという事実がワークショップでもアンケートでも明らかになった。また、歴史を解りやすく、面白くといった意見も複数見られるため、展示を検討していく上でよくよく留意する必要がある。具体的には、1階常設展示の「先人ロード」や「シアター」、「トピック展示」は歴史に関心の薄い層に向けてとりつきやすさ、解りやすさを重視して検討を進めてきたが、その方針をより一層進め、詳細を検討していく。

2階の企画展示に関しては実物資料を中心に展示を行うが、専門性を保ちつつも解りやすい解説に留意して詳細を検討していく。

また、自然や食に愛着を抱いている意見が多かったため、市民が気軽に情報発信できる1階の「うわ！じまん」で反映できるようにしていく。

(4) 運営・事業への反映

ワークショップやアンケートで得た数多くの意見を反映していくには、開館後、博物館をどのように運営していくのか、どのような事業を、どの程度の頻度で行っていくのかが最も大切な事と言える。

最も意見の多かった「気軽に立ち寄れる、使いやすい、落ち着きや居心地の良さ、多世代が交流できる場所」については、ホスピタリティや接遇のレベル向上に向けたルールづくりやスタッフ教育のあり方等についての検討が必要となる。

「放課後も過ごせる場所」については、開館時間の設定、無料区間の設定が必要となるが、開館時間の延長は人件費経費の増加にも繋がるため、例えば、夕刻以降は有料区間を閉鎖し、無料空間のみ開放する等の検討が必要となる。また、観光客など属性の異なる利用者の利便性もあわせての検討が必要。

カフェについては規模感から単独運営は難しいと考えられるため、開館前、開館後あわせて運営のあり方を検討していく必要がある。

「定期的なイベントの開催や高校生との連携、多世代が交流できる場所」は展示事業や教育普及事業、サービス事業の要求水準で定めていく必要があるが、運営事業費にも限りがあるため、今後慎重に検討していく。特に高校生をはじめ市内の若者との連携は、新博物館の基本理念に沿った重要な検討事項と言えるため、積極的な検討が必要と考える。

なお、「歴史を楽しく学べる、親しめるといった意見や、ワークショップを行って欲しい」といった意見に応えるには、いわゆる学芸業務に負担を生じる事項があることに留意する。

運営・事業へ反映する意見は多いが、直営、指定管理者制度の導入によって検討事項が異なるため、それらを踏まえ、設計完了後も継続して検討し、「みんなが文化・芸術を楽しめる」機会の提供を実現していく必要がある。

以上